

ボツワナ

主要データ

国名〔英名〕	ボツワナ共和国〔Republic of Botswana〕
面積(km ²)	581,730
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	2.2
人口密度(人/km ²)	3.8
GDP(十億 US\$)	10.95
一人当り GDP(US\$)	4,956.53
主要鉱産物：鉱石	銅、ニッケル
主要鉱産物：地金	銅、ニッケル
鉱業管轄官庁	鉱物・エネルギー・水資源省(Ministry of Minerals, Energy and Water Resources)
鉱業関連政府機関	地質調査所(Department of Geological Survey)
鉱業法	Mines and Minerals Act(1999)
ロイヤルティ	貴石 10%、貴金属 5%、その他鉱物：3%(売上高に対して賦課)
外資法	Foreign Investment Code(2001)
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境影響評価法(Environmental Impact Assessment Act(2005))
鉱業公社	Bamangwato Concessions Ltd (BCL)（仮精算中、後述）
鉱業活動中の民間企業	Cupric Canyon Capital LLC、African Copper Plc 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2016年のトピックス	・ 鉱業法改正に向けて鉱物・エネルギー・水資源省で検討中。

1. 鉱業一般概況

ボツワナの鉱業は、輸出収入の過半を占めるダイヤモンドに集中しているが、同国北西には Kalahari カッパーベルトがあり、小規模ながらも銅、ニッケルの鉱山が操業を行っている他、コバルト、白金族、石炭、ソーダ灰、塩類、金及び銀が生産されている。また 2,000 億 t 以上の石炭資源があると推定されており、政府は鉱物資源開発への外国投資を積極的に呼びかけている。なお、同国は鉱業投資国として評価が高く、Fraser Institute (Survey of Mining Companies 2016) による鉱業政策指数 (Policy Perception Index) は昨年 14 位から下げ 19 位となったものの、アフリカでは上位を維持している（アフリカではコートジボワールが 17 位でアフリカ最上位）。独立以来、安定的な民主主義政治が継続していること、経済成長も順調であり 1966 年から平均でおよそ年 6% の成長を維持していることも評価が高い。

政府はダイヤモンド鉱業への依存体制を脱し国内産業の多角化を図るため、製造業、金融業、観光業の振興策を推進しており、鉱業セクターが GDP に占める割合は 2006 年の 46% から近年は 3 分の 1 程度にまで低下している。政府は持続的な経済成長を目的とした 2017 年 4 月から 2023 年 3 月までの第 11 次国家開発計画を発表し、前計画に引き続き鉱業における高付加価値化や下流産業の強化について盛り込んでいる。新計画の中では鉱業は計画期間平均で年 2.8% の成長、非鉱業は年 4.6% と見込んでいる。しかし、鉱業は依然として経済成長の牽引役であるとしており、政府は北西部の鉱山開発を奨励したい意向

で、現在開発中の Khoemacau 銅鉱山（2019 年生産開始予定）などに向けて送電網を敷設することとしている。一方、資源価格低迷が同国鉱業を直撃し、採算が合わないとして一部の銅、ニッケル鉱山の操業が停止、また Tati ニッケル鉱山及び Boseto 銅鉱山が売却、さらに鉱山公社 BCL については、政府支援が継続困難として会社の仮清算が進められた。BCL については、Tati 鉱山の買収についての訴訟を抱えている他、現在会社売却に向けて交渉が行われているが難航している模様。

2. 鉱業政策の主な動き

鉱業法 (Mines and Minerals Act 1999) は、現在改正に向けて鉱物・エネルギー・水資源省において検討が進められている。Kitso Mokaila 鉱物エネルギー水資源大臣は、鉱業法を近代化し、鉱山会社により良い投資環境を提供できる法改正を目指すとして 2016 年 6 月にコメントしている。その後の報道では、現在改正について検討中であり、政府の権益取得オプションの 26%への引き上げについて言及された旨が伝えられているが、詳細は不明である。

なお、現在の鉱業法 (Mines and Minerals Act 1999) では、政府がプロジェクト会社の株式を最大 15%まで購入できる（ダイヤモンドの権益比率については政府との交渉による）。ただし実際に本規定が発動されるかどうかはプロジェクトによって異なる。高付加価値化政策により、製錬事業及びその他製造業関連事業に関して法人税は低減され、0%から 15%の範囲で交渉される。なお、2015 年 5 月には、コモディティ価格が低迷する状況を受けて、銅生産者の支援を目的に 3 %のロイヤルティの支払いを 1 年間猶予させると Kitso Mokaila 鉱物エネルギー水資源大臣が発表したと報じられた。鉱山の操業停止により多くの失業者が出る事態を懸念しての救済措置とみられる。

表 2-1. 税制概要

種類	内容
ロイヤルティ	貴石：10%、貴金属 5%、他の鉱物：3% (売上価格に対して賦課)
変動的法人税率 (VITR: Variable Tax Rate)	計算式により、25%~55%間で変動
資本控除	資本支出の 100%が減価償却可能
損失の繰越	繰越可能
配当の源泉課税	配当の 7.5%
輸入関税	鉱業で用いられる資機材は関税免除
付加価値税	原則 12%

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2014 年 (千 t)	2015 年 (千 t)	2016 年 (千 t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ニッケル	15.0	16.8	17.2	2.4	0.9	19

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2017)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

表 3-2. 金属鉱石輸出量

鉱種	2014年(t)	2015年(t)	2016年(t)	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
銅鉱石	109,421	49,399	557	-98.9	セーシェル、南ア
ニッケル鉱石	14.0	-	-	-	南ア

(出典：Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 金属鉱石輸入量

鉱種	2014年(t)	2015年(t)	2016年(t)	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	360.0	138.0	222.0	60.9	南ア
鉛鉱石	0.0	44.0	-	-100.0	南ア
チタン鉱石	3.0	3.0	-	-100.0	南ア

(出典：Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量	備考
Boseto 鉱山	Cupric Canyon Capital LLC (100)	銅、銀	-	メンテナンス中
Mowana 鉱山	Pen Min Botswana (100)	銅	-	2016年に一時生産停止、現在は再開
Tati (Phoenix) 鉱山	BCL (85)、Government of Botswana (15)	ニッケル、銅、パラジウム、プラチナ	-	Norilsk と売買について係争中
Thakadu/Makala 鉱山	African Copper Plc (100)	銅、金、銀	-	メンテナンス中
Selebi-Phikwe 鉱山	BCL (100)	ニッケル、銅、コバルト	-	BCL 生産に伴い、稼働継続について検討中か

(出典：各社 HP 等)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量	備考
Selebi-Phikwe 製錬所	BCL (100)	ニッケル(千 t) 銅(千 t)	- -	BCL 生産に伴い、稼働継続について検討中か

(出典：各社 HP 等)



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

5. 探鉱・開発状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	所有企業(権益比率：%)
Botswana	リチウム	Lithium Consolidated mineral Exploration Ltd (80)
Botswana T3	銅、銀、鉛、亜鉛、モリブデン、PGM	MOD Resources Ltd (100)
Gcwihaba	ウラン、銅、バナジウム、金	Tsodilo Resources Ltd(100)
Gcwihaba	銅、亜鉛、銀	Tsodilo Resources Ltd(100)
Khoemacau	銅、銀	Cupric Canyon Capital LLC(100)
Kihade	亜鉛、鉛、銀、銅、バナジウム	Mount Burgess Mining NL(100)
Letlhakane	ウラン	A-Cap Resources Ltd(100)
Magogaphate	ニッケル、銅、コバルト、銀	BCL (70), Botswana Metals Ltd(30)
Selkirk	ニッケル、銅、コバルト、プラチナ	BCL (85), Government of Botswana(15)
South West Kalahari	銅、銀	Discovery Metals Ltd (100)
Xaudum	鉄鉱石	Tsodilo Resources Ltd(100)

(出典：各社 HP 等)

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ JOGMECは2008年7月、同国に地質リモートセンシングセンターを開設し（所在地はハボロネ市）、SADC諸国を対象にリモートセンシングを活用した鉱物資源探査事業及び同国の資源探査技術者への技術研修を実施している。
- ・ JOGMECは2009年10月に豪Discovery Metals社との間で共同探鉱契約（JV契約）を締結し、ボツワナ

東部Selebi-Phikwe鉱山の周辺に隣接するDikoloti地域においてニッケル、白金族を対象とした探鉱を開始した。2014年3月には鉱山公社BCLを加えた3社で新たなJV契約を締結し、引き続き探鉱を行っている。

7. その他トピックス

- ・ ロシア Norilsk Nickel 社は 2017 年 4 月 28 日付のプレスリリースにて、ボツワナ政府に対し南ア Nkomati Nickel 鉱山権益買収撤退に関して訴訟を起こすことを発表した。Norilsk 社は、2014 年にボツワナ国営 BCL 社に南ア Nkomati 鉱山の権益 50%、ボツワナ Tati Nickel Mining 社の権益 85%を 3 億 3700 万 US\$で（その後、2 億 7100 万 US\$に値下げ）売却することで合意していたが、2016 年 10 月に BCL 社は資金不足を理由に取引を中止した。既に 2016 年 12 月には、Norilsk 社は 2 億 7100 万 US\$の回収とその他損害賠償を支払うように BCL 社に対し訴訟を起こしていたが、今回ボツワナ政府に対し BCL 社との売買契約の下、BCL 社の債務を支払う責任を負うべきであると訴訟を起こしたとしている。Norilsk 社によると、BCL 社は歴史的にボツワナ政府の財政支援に頼り存続してきており、Nkomati 取引の資金のほとんどは政府からによるもの、または政府から補償されるものであるとし、ボツワナ政府は BCL 社の財政状況を認識していながら、取引を無謀に進めたと主張した。加シクタンクによる最新の調査で、ボツワナはアフリカにおける鉱業投資先として首位に位置付けられ、政策の安定性も高く評価されているが、メディア報道によれば、今回の訴訟結果によりボツワナに対する投資家の肯定的な認識が変わる可能性があるとしている。
- ・ 2017 年 5 月 15 日付のメディア報道によると、ボツワナ政府は在 UAE ファンドの Emirates Investment House (EIH) 社に国営 BCL 社が抱える債務を引き受ける代わりに 1US\$で売却することを提案した MoU を結んだと同国 Sadique Kebonang 鉱物資源相が述べた。BCL 社は、深刻な財政難に陥り 2016 年 10 月には仮清算下に置かれており、政府は同社の買収先を探していた。
- ・ 2017 年 7 月 25 日付のメディア報道によると、ボツワナ政府は、ロシア Norilsk Nickel 社とボツワナ国営 BCL 社による南ア Nkomati 鉱山の権益買収撤退に関する解決に向けた協議を 2017 年 8 月に行うとした。Norilsk Nickel 社は、今年 4 月ボツワナ政府に対して契約破棄に伴う 2 億 7,100US\$の損害賠償を求める訴訟を起こしている。同国 Sadique Kebonang 鉱物資源大臣は、解決に向けた交渉の土台として現在 Nkomati 鉱山の価値をはかるためのデュー・デリジェンス及び査定を実施しているとし、8 月 15 日に査定が終了後、Norilsk Nickel 社と交渉を開始するとした。これに対し、Norilsk Nickel 社は解決に向けたボツワナ政府の意図を歓迎し、状況の迅速な和解を望んでいるとメディア報道を通じて述べた。

(2016. 12. 9 ロンドン事務所 吉益英孝)